

### 岐阜健康友の会の公式LINEを開設しました

登録・操作方法 スマホをお持ちの方は、QRコードで登録ができます。

- 友だち追加方法**
- ① LINEを開く
  - ② ホームを押す
  - ③ 友だち追加を押す
  - ④ QRコードを押す
  - ⑤ 右のQRコードをかざし「追加」を押す
  - ⑥ 登録完了!

是非ご登録をお願いします



#### 予定している情報発信内容

- ◎友の会の活動紹介
- ◎健康とくらし
- ◎新型コロナについて(感染対策や新しい情報)
- ◎各事業所(みどり病院・すこやか診療所・華陽診療所・こがねだ診療所・関連の介護施設等)からの情報
- ◎災害や震災があった時の各地域の情報やみどり病院の避難状況について等
- ◎求人募集 様々な情報を1週間に1~3回程度送ります。



### ～岐阜健康友の会 2022年度方針～

#### 勤医協基金を広げ、みどり病院 リニューアルを成功させましょう

地域にひらかれたみんなにやさしい病院

みどり病院の前身のみどり診療所は「いつでも診てもらえる病院がほしい」という多くの声にこたえて設立されました。その声は周りの人々を動かし支援と援助を集め、「誰もが差別なく安心してかかることのできる診療所」として、地域での役割をはたしてきてきました。この診療所の時代から病院となるまで改築を重ね、2024年の開所をめざす新みどり病院は「地域にひらかれたみんなにやさしい病院」として、子どもからその親、高齢のかたまで継続的に、生活を支える医療を提供し、「わかりやすさ」、「プライバシーの配慮」、「ゆとりある空間」などのより快適な診療環境の確保をめざしています。

今までの資金が必要で、より質の高い、地域のみなさんの要求に応える病院にするためには、今までの資金を必要とします。健康友の会のみなさんの「層のご協力をお願いします。友の会の会員を増やし、勤医協基金を広げましょう」

勤医協基金は、健康友の会の会員本人様から無利子でお借りする資金で、一口1000円からです。基金を広げるためには、どうしても、会員になつてもう一人を増やさなければなりません。周りのお知り合いの人、近所の人などに、友の会のこと、新病院のねらい、役割などを話しかけ、会員となつてもらいましょう。

岐阜健康友の会 会長 大塚研二

### 野村・和高支部

野村・和高支部は、芥見自治会連合会の7支部のうちの2支部、野村(525世帯)と和高(240世帯)地域の「友の会」支部(会員数・野村127世帯24%・和高57世帯23%)世話人12名(この2年間で、最愛の伴侶をなくされた方が3名)です。創立は2018年7月28日、芥見地域・高齢化率33%、時代の波の音が大きく聞こえてくる中で、一人暮らしになったら病気になるのが一番心配。近所で温もりのある仲間づくりが大切。など、一人ひとりの思いを寄せ合って第一回支部総会を開催しました。



(副支部長 青木節子)

#### 地域の幸せづくり

野村・和高支部は、『平和で人と緑が輝く健康長寿と文化の郷づくり』と、その実現のために「三つの旗」①予防に勝る治療なし②垣根のない福祉を③メダカの学校(共に)をかげ、地域の皆さんとともに、未来を切り開いていく決意をいたしました。

### 三輪支部

こんにちは三輪支部です。三輪支部は2016年に結成し6年が経ちました。コロナ前は1年に4回、3か月に1度健康班会を開催していました。コロナ禍では1年に3回北東部コミセンで開催しています。健康班会は会員からの要望で、「筋力トレーニング」「熱中症の話」「体の痛みと予防と改善」「介護保険について」「おしっこの話」や、1年に1回骨密度測定をしております。骨密度は普段自分で測定できないので、骨密度測定をしております。コロナになってから、骨密度測定ができずにいました。今年1月12日、みどり病院の古屋放射線技師に来ていただき久々に開くことができ、8名の参加となりました。班会が開催される少し前に集まり、元気に集まれたことをまず喜び合いました。参加者は全員60代以上です。転ん



(岩田登美子)

で骨が折れたら寝たきりになりそうの方が多く、骨粗鬆症にならないためには何が必要か、毎日の食事の大切さ、運動の大切さを教えてもらいながら測定をしました。放射線技師から測定中の少しの時間に自分の病気の助言を頂いたりして、久々の健康班会はとても有意義でした。

### 家族一緒に Peace Wave

#### 9条を守る

ライフワーク 8月9日生まれの私は、高校生の時から原水爆禁止世界大会に参加し、いつしか平和活動はライフワークになっていった。

「一切の戦争政策に反対する」綱領を持つ民医連に入職し、子どもが誕生しても子連れで平和パレードや原水禁世界大会に参加。どこでも「子どもなんか連れてかわいそう」と言われたが、「子どもを置き去りにするより、子どもに説明して活動する姿を見せたほうが良い」と、今でも子どもたちが同行を希望すれば一緒に活動をしています。

#### 自分の言葉で伝える

子どもが生まれてからずっと月齢誕生日に本を月1冊プレゼントしている。娘が低学年の時に「ぼくがライオンたべるとき」を読んで、「ライオンたべるときに、遠くの国の子どもが戦争で死んじゃってるかもしれないんだね」とボツリ。それから数年。今年2月のロシアのウクライナ侵攻が始まると、絵本のシーンが浮かび、スロベニアやカナダに暮らす親族と敵同士になったら・・・と心配するように。子どもは、中

どこでも9条 あるとき市民プールで「ママ！9条がある！」と叫んだ娘。当時小学3年生だった彼女はプールの滑り台を見上げてとつさに叫んだようだ。9条のイベントに参加する機会が多く覚えていた様子。家庭菜園のキュウリを収穫したら「9条キュウリ！」、9条プローチを華陽診療所で見かけたなら「9条パッチ



生、小学校高学年に成長し、夏休みの課題や平和学習で自分の言葉で思いを表現するようになってきた。「平和憲法は大事」「9条を守ろう」の思いをのせて、今日も何かしら日常の平和を発信し続けるのが私たち家族のPeace Waveだ。(みどり病院事務局長 中尾美絵)